

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		県単道路改築事業		路河川名等	(一)米川駄科停車場線			
事業毎の通番		8	市町村名	飯田市	箇所名(ふりがな)	小林(こばやし)		
事業概要	事業目的	本路線は、飯田市千代地区から下久堅小林地区を抜けて駄科駅に至る生活道路である。飯田市下久堅地籍においてごみ焼却場の新設、平成29年度からの稼働が予定されており、当区間が搬入路となることが想定されているが、幅員狭小で大型車両のすれ違いが困難な区間がある。このため、当該区間を拡幅し、増加するごみ運搬車両の円滑な通行に寄与したい。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法			
	関連する事業、計画等	ゴミ焼却場建設(南信州広域連合)						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	現況交通量 : 2,491台/日(H22センサス)						
	着手年度	平成27年度	事業期間	平成29年度	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成29年度	費用対効果	1.1		国庫	その他	県債 一般財源
全体事業内容(主な工種)	L=100m W=6.0(7.5)m			30,000		27,000	3,000	
年度事業内容(主な工種)	地形・路線測量 L=0.1km 道路詳細設計 L=0.1km			3,000		2,700	300	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	ごみ運搬車両の円滑な通行						
	間接的効果(定量的・定性的)	特になし						
評価の視点	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>代替道路の有無 : 有り</li> <li>交通結節点アクセス : 駄科駅</li> <li>生活支援・観光振興 : 輝山会病院、飯田病院</li> </ul>					評価	B
	重要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連計画、重点施策との整合 : 無し</li> <li>緊急輸送路の路線指定 : 周辺住民の避難路</li> <li>地域指定 : 地震防災対策強化地域</li> </ul>					評価	C
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用対効果(B/C) : 1.07</li> <li>事業期間 : H27~H29</li> <li>工法等の比較検討 : 1.5社線整備検討</li> <li>他事業との連携 : 新設ゴミ焼却場への運搬路</li> </ul>					評価	A
	緊急性	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年の交通事故件数 : 無し</li> <li>渋滞及び騒音・振動の緩和 : 無し</li> <li>歩道整備 : 無し</li> <li>現況の幅員、半径、勾配 : W=4.0(5.0)m</li> </ul>					評価	C
	計画熟度	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業情報の共有 : 南信州広域連合と地元地区との協定書</li> <li>地域の取り組み : 南信州広域連合、飯田市等からの要望</li> <li>地域の合意形成 : 9月8日県、市、地区で地域改良要望の現地立会</li> <li>住民との協働 :</li> </ul>					評価	A
	部意見	事業の効率性、計画熟度が高いため、平成27年度から事業化した。		行政改革課意見	必要性は認められる。		評価結果	総合評価

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

ごみ焼却場進入路(建設中)

地形・路線測量 L=50m  
道路詳細設計 L=50m

広域農道

地形・路線測量 L=50m  
道路詳細設計 L=50m

施工箇所

ごみ焼却場建設

現道幅員4.0

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	本路線は、飯田市千代地区から下久堅小林地区を抜けて駄科駅に至る生活道路である。飯田市下久堅地籍においてごみ焼却場の新設、平成29年度からの稼働が予定されており、本路線の当該区間を含むルートが主要な搬入路となるため、ごみ運搬車両の通行が始まる施設稼働までに、幅員狭小で大型車両のすれ違いが困難な区間を解消する必要がある。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	飯田市からの改良要望あり
③事業説明等の経緯	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	ごみ焼却場の新設、平成29年度からの稼働が予定されており、当区間が搬入路となることが想定されている。施設稼働までに、幅員狭小で大型車両のすれ違いが困難な区間の解消が求められている。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	設計において、地形改変を極力抑制するよう配慮する。
⑥地域活性化への影響と配慮	飯田市街地と郊外部を結ぶ路線であり、円滑な車両交通を確保することにより、地域の活性化に寄与する。
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 35° 27' 39.76"
	東経:E 137° 51' 8.81"